

社会保障研究所日誌 (昭和52.1~4)

- 昭和 52. 1. 6 研究員山崎泰彦, 社会保障に関する調査・研究等のため, ニュージーランド, オーストラリアに出張 (3. 28 まで)
1. 10 所長 馬場啓之助, 監事 寺尾琢磨, 理事 福・武直 再任
1. 17 専門委員会開催 (健保会館)
1. 18 統計調査研究会 (第 8 回) 報告内容「中高年世帯の食料費の分析」報告者: お茶の水女子大学 横田 京
1. 19 Netherlands Scientific Council for Government Policy の Dr. J. Kremers と Drs. M. C. E. von Gendt 来所, 所長, 三浦部長, 高橋研究員ほかと懇談
1. 25 顧問 山田雄三再任
- 同 経済分析研究会 (第 6 回) 報告内容「家計の家族周期的分析」報告者: 国民生活センター調査役補佐 岡田政子
1. 27 定例役員会開催 (第 124 回)
2. 1 社会分析研究会 (第 6 回) 報告内容「老人ホームにおける処遇について」報告者: 東京都老人総合研究所 小笠原祐次
2. 3 経済・社会研究会 (第 7 回) 報告内容「ロブソンの福祉社会論について」報告者: 研究員 高橋紘士
2. 8 第 11 回社会保障研究所シンポジウム開催 テーマ (1) 「日本的な福祉社会」レポート: 社会保障研究所長 馬場啓之助, コメント: 慶応義塾大学教授 藤沢益夫, コメント: 法政大学助教授 稲上 毅, 司会: 一橋大学名誉教授 山田雄三, テーマ (2) 「社会福祉の日本的形態」レポート: 厚生年金基金連合会理事長 伊部英男, レポート: 同志社大学教授 嶋田啓一郎, コメント: 研究第 3 部長 三浦文夫, コメント: 日本社会事業大学学長 仲村優一, 司会: 東京大学教授 福武 直 (健保会館)
2. 15 政策研究会 (第 7 回) 報告内容「昭和 52 年度厚生省予算について」報告者: 厚生省大臣官房会計課長 持永和見
- 同 『海外社会保障情報 No. 37』編集委員会開催
2. 17 統計調査研究会 (第 9 回) 報告内容「中高年者の不定愁訴と健康」報告者: 国際基督教大学講師 前田正久
2. 24 経済分析研究会 (第 7 回) 報告内容「社会保障の再分配調査について」報告者: 厚生省大臣官房企画室計画官 小池淳夫
- 同 経済・社会研究会 (第 8 回) 報告内容「新しい中国の生活と社会政策」報告者: 理事 福武 直, 研究員 大本圭野
- 同 定例役員会開催 (第 125 回)
3. 15 社会分析研究会 (第 7 回) 報告内容「アメリカのナーシング・ホーム」報告者: 国立公衆衛生院 前田信雄
3. 17 経済分析研究会 (第 8 回) 報告内容「日本の医療費をめぐる諸問題」報告者: WHO フェロウ Dr. J. Broida
- 同 経済・社会研究会 (第 9 回) 報告内容「総合社会政策について」報告者: 所長 馬場啓之助
- 同 定例役員会 (第 126 回)
3. 22 政策研究会 (第 8 回) 報告内容「健康保険の当面する諸問題」報告者: 専門委員 小山路男
3. 31 経済・社会研究会 (第 10 回) 報告内容「福祉“政策”のダイナミックス」報告者: 研究員 岸 功
4. 5 英国保健社会保障省補足給付委員会委員長 デイビッド・V・ドニソン氏来所, 社会福祉事業研究開発基金主催, 社会保障研究所・上智大学共催による講演会を開催 (演題: Social Policies in Rich Countries) (霞ヶ関東海クラブ)
4. 12 政策研究会 (第 1 回) 報告内容「オセアニアの社会保障事情」報告者: 研究員 山崎泰彦
4. 19 社会分析研究会 (第 1 回) 報告内容「老人ホームの処遇について」報告者: 東京都老人総合研究所 浅野 仁
4. 21 経済分析研究会 (第 1 回) 報告内容「“国民所得・国富学会アジア部会”の報告について」報告者: 専門委員 江見康一
4. 26 統計調査研究会 (第 1 回) 報告内容「高齢世帯の収入源泉別家計構造——昭和 48 年掛川調査を中心に——」報告者: 研究員 大本圭野
4. 28 経済・社会研究会 (第 1 回) 報告内容「論理実証主義の再検討」報告者: 顧問 山田雄三
- 同 定例役員会開催 (第 127 回)